

令和5年1月27日

## 第69期新人戦・女子部新人戦 実施要項

東京都学生弓道連盟

会長 小笠原 清忠

委員長 南嶋 洋平

### 1. 日 時

<オンライントーナメント抽選会> 令和5年2月18日(土)18:00~

<試合日時> 一回戦・二回戦 3月4日(土)&3月5日(日)

三回戦(・四回戦) 3月11日(土)(&3月12日)

準決勝 3月18日(土)

決勝・三位決定戦 3月19日(日)

※四回戦がない場合は当日を予備日とする。

※天候不順の場合の予備週：

※予備日：各週金曜日・月曜日

### 2. 場 所

一回戦～四回戦 各加盟大学道場にて**オンライン開催**

準決勝・決勝・3位決定戦 第三者道場にて**対面開催**

### 3. 参加資格

本連盟加盟大学(本年度は一大学一チームまで参加可)

### 4. 出場資格

新人

：東京都学生弓道連盟主催のリーグ戦において、第一週から第五週、順位決定戦、および入れ替え戦のどの試合にも一切出場経験のない者。選手登録がなされていたり、控え選手として立順用紙に名前が書かれたりしていても、実際に試合に出場していなければ新人である。

### 5. 競技方法

トーナメント方式

男子：1立6名順立(1選手20射、計120射)

女子：1立4名順立(1選手20射、計80射)

定員(6名、女子は4名)に満たない場合は定員未満の人数でも出場可。

控え選手は無制限とする。

的中同数の場合は、一手競射により勝敗を決定。

それによっても決定しない場合は、勝敗が決定するまで一本競射を行う。

### 6. 選手交代

5射目より認める。

選手交代する時には、当該の立が本座に進む前に立合及び相手校に、連盟の定める書類にてこれを通知しなければならない。

7. 表彰 団体 上位3大学  
個人 皆中賞(20射皆中)  
新人賞(男子：20射18中以上、女子：20射16中以上)

## 8. 試合時間・日程等

### 試合日程

- 3月4日(土) 新人戦・女子部新人戦 第1回戦  
3月5日(日) 新人戦・女子部新人戦 第2回戦  
3月11日(土) 新人戦・女子部新人戦 第3回戦  
3月12日(日) 新人戦・女子部新人戦 第4回戦  
3月18日(土) 新人戦・女子部新人戦 準決勝  
3月19日(日) 新人戦・女子部新人戦 決勝・3位決定戦

※試合日程は参加チーム数によって多少変化する可能性があります。また、日程は2月18日(土)の抽選会にて決定する。

### 試合時間

午前(男子)：附矢 9:40~10:20 試合開始 10:40~

午後(女子)：附矢 13:40~14:20 試合開始 14:40~

※本大会はトーナメント形式のため、正当と判断できる理由に基づく順延は、後述の方式に基づいてのみ行うものとする。

## 9. 注意点

**以下に記載する情報は、試合を公正かつ円滑に行うために必要不可欠なものである。立合校を中心に必ず熟読すること。**

### 競技校間の連絡に利用するオープンチャットについて

各競技校責任者は、当連盟が別途公表する資料を参照し自身の大学と関係のある試合の番号とそのオープンチャットを確認すること。参加するタイミングは

- ・当該試合の2週間前
- ・当該試合に出場することが確定した瞬間

上記のうち早い方までに参加すること。混乱を避けるため、自身とは全く関係のない試合のオープンチャットには勝手に入室しないこと。

なお、オープンチャットのリンク一覧は、トーナメント抽選会後に公表を予定しているため、よく確認すること。

### 道場アンケートについて

第三者の道場利用に関しての情報を収集することを目的としたアンケートである。  
**試合実施日の申告も兼ねた重要なアンケートであるため(「諸事由による試合実施日の変更や順延について」を参照)、各競技校は必ず回答期間内に回答すること。**

こちらは別途公表されるリンクから回答すること。回答期限は **2月4日(土)**とする。

### 諸事由による試合実施日の変更や順延について

本大会の競技形式がトーナメント形式であるため、本大会においては「本連盟が天候不順などの理由で全競技校に対して一律に試合の延期を要請した場合」並びに「事前に申告された不可抗力的な事由によって予定日に試合が実施できない場合」以外は、順延を認めない。

上記の事例において順延先の日程が対戦校の事前申告された実施不可能日であった場合、順延は認めず、順延を要請した大学の棄権として扱い、対戦校の不戦勝として処理する。

#### **【試合実施不可能日の事前申告】**

外部道場の予約や施設利用の可否の確認を行い、試合実施不可能な日時を所定の形式にて大学ごとに事前申告する方式をとる。事前申告期間は以下のように設定する。

事前申告期限：**2月4日(土)**

#### **【申告方法とその後の対応】**

① 別途公表されるリンクを参照し、表示される Google フォーム内に記載された日付の中で、試合実施の不可能なものを、理由も添えて選択し、回答を送信する。

このアンケートには、実施不可能日のない競技校も含めた**全ての競技校が回答する。**

② 申告された実施不可能日とその事由について、連盟が事実確認を要すると判断した場合には、当該校の責任者に連絡し事実確認を行う。また、この段階で申告された事由が正当であるかどうかの判断を行い、この結果も当該校の責任者に連絡する。申告事由が正当と判断された場合、その後の具体的な対応は本連盟より個別に行う。

#### **【申告されるものの中で順延・日程変更が認められる事由の例】**

- ① 構内一斉停電による施設利用不可
- ② 大学構内立ち入り禁止による施設利用不可
- ③ 期限までの申告内容のうち、道場非所有校が外部道場を確保出来なかった場合  
※ただし、この場合は道場確保に向けた申告日までの流れを別途明示し、不手

際等に基づく不備ではないことをしめすこと

その他、不可抗力的な事由とされるものに関しては対応する。責任者との対話の結果該当しないと判断された場合には、当該チームを棄権校として扱う。

**【本連盟が一律に試合の延期などを要請した試合の実施日】**

順延後以後の試合全てを、一週間遅らせて実施することとする。

例1) 土曜日の試合に対して延期を要請した場合

- ① 実施予定日が元々土曜日であった試合→翌週の土曜日
- ② 実施予定日が元々日曜日であった試合→翌週の日曜日

例2) 日曜日の試合に対して延期を要請した場合

- ① 実施予定日が元々日曜日であった場合→翌週の日曜日
- ② 実施予定日が元々翌週土曜日であった場合→翌々週の土曜日
- ③ 実施予定日が元々翌週日曜日であった場合→翌々週の日曜日

**【事前申告された事由によって順延された試合の実施日(予備日)】**

公平性を最大限担保するため、順延日は以下のように指定し、本連盟が確認の上で順延可能日に試合実施日を変更する。上記以外の日付への日程変更は、これを認めない。

- ① 実施予定日が元々土曜日であった場合→前日の金曜日
- ② 実施予定日が元々日曜日であった場合→翌日の月曜日

競技中・行射中に Zoom 接続が切れてしまった場合の対応等について

本大会において、競技中・行射中に Zoom 接続が切れてしまった場合、下記の手順で記録・公平性の担保を目指す。

- ① 立合校の管理するデバイスにて、正常な立合業務に支障をきたす映像・音声の乱れが生じた時点で、立合の判断で行射を一時中断し、映像・音声が乱れるまでの的中を記録し、行射中断合図の後に発射された矢を、その的中の有無に関係なく、全て無効として処理する。

※この時立合校は、行射中断の合図とともに記録の有効・無効の線引きを行う。

- ② 映像・音声・接続回復後、無効となった矢から引き直す形で行射を再開し、その的中を正式な記録とする。

行射停止の判断の目安について

Zoom 接続の一時的切断などによって、行射停止を指示するかの判断基準・目安は下記のように規定する。ただし、下記はあくまで目安であり、立合校は各現場において柔軟に対応すること。対応の難しい場合は行射中断ののち、直ちに本連盟まで問い合わせること。

- ・行射中の選手の打起し～離れまでの一連の映像が確認できない場合

- ・選手入場前や行射開始前の時点で既に映像が乱れている場合

#### 応援矢声・鳴き・よしがけなど発声を伴う応援について

新型コロナウイルス感染症対策の観点ならびにオンライン試合(1回戦～4回戦)においては使用する道場間の規制の程度の違いに配慮し、的中などに対して発声を伴う応援行為や激励行為は、その一切を禁止する。これは対面かオンラインかという開催方式によらない取り決めとし、具体例として以下のようなものである。

- ・的中に対して「良しっ！」や「いいぞっ！」などの発声
- ・上記の掛け声などに対する「はいっ！」などの返事
- ・入場時の掛け声等

なお、対面試合(準決勝、決勝、3位決定戦)においては、試験的に学連からの制限はないものとする。但し、会場校側から制限がある場合はこれを優先して従うこと。

#### 行射中の選手に対する指導矢声の一部規制について

以下の文言を含む矢声を禁止とする。

- ・上下左右
- ・前後
- ・天地
- ・的を時計の文字盤に見立てた方向(三時、九時等)

これらの文言を含む矢声をかけられた選手の的の矢は、全て無効となる。

#### 引き直しについて(都学連規約第45条、映像・音声の乱れ以外の場合)

- ① 引き直しに該当するかどうかの判断は審判(立合)が行う。
- ② 当該校が引き直しを主張できるのは、当該選手が次の矢の打起しを行うまでとする。但し、最終矢に関しては、的中確認まで主張できるものとする。
- ③ 引き直しが確定した場合は、全選手が留め矢まで引き矢取りと確認が行われた後、当該選手が引き直しを行う。

例(大前の二本目が引き直しとなった場合)

- ① 当該選手から引き直しの要求がかかる。
- ② 立合校がその要求を吟味し、了承する。
- ③ 全選手が留め矢まで引き終わるのを待つ。
- ④ 全員が退場し、確認及び矢取りが行われる。
- ⑤ 主審(立合校)の指導で、引き直しが行われる。

#### **【引き直しとなることが明確な事例】**

- ・ボールなどの障害物が当該選手に衝突した場合
- ・障害物が矢道に侵入し、当該選手の的が一時的に見えなくなった場合

※その他、特別な事象が発生した場合は、その都度立合が引き直しに該当するか判断する。どうしても公平な判断が難しいとされる場合には、直ちに本連盟まで問い合わせる。

#### 的中確認のタイミングについて

競技校は、行射中は一本毎に、行射後は矢取り以前に各的の的中を立合に報告しなければならない。

ここで言う行射中の一本ごとの的中確認とは、オンライン試合の場合はカメラ越しに報告する○×のこと、対面試合の場合は看的表示のことである。

#### 確認前の矢への接触行為について

確認を行う前に矢または的に接触した場合、その的全ての矢を外れとする。接触行為にあたるかどうかの判断は、対戦校から事実確認の上立合が判断する。

#### 的中確認方法や文言について

【的中確認の文言(原則に則っていれば文言の多少の変更・調整は可)】

的場撮影カメラ 「確認します」

立合 「はい。」

的場撮影カメラ 「大前( )中」

立合 「はい。」

※この時、立合が返事をするまでの場撮影者は次の的に進まない。

的場撮影カメラ 「二的( )中」

立合 「はい。」

(中略)

的場撮影カメラ 「大落( )中です。」

立合 「はい、結構です。矢取りお願いします。」

※立合の返事があるまで、全ての矢に絶対に触れてはいけない。

※対面試合の場合に関しては、別途資料参照。

#### 新人戦期間中の練習試合の禁止について

新人戦に出場する大学は、新人戦期間中の練習試合を原則禁止とする。

当連盟が定める期日までに、メールにて当連盟の許可を得た場合のみ、練習試合を認める。以下、場合分けを記述する。自身の大学が実施しようとしている練習試合に該当するものをよく読み、その通り対応すること。

① ～4回戦までにおけるオンライン開催試合の場合

→基本的に申告のみでよい。申告期限は試合実施予定日の一週間前まで。

- ② ～4回戦実施日までに対面開催試合を行う場合  
→必ず使用予定の道場と併せて可及的速やかに申告する。申告期限は、4回戦1週間前もしくは実施予定日の一週間前までのうち日程的に早い方とし連盟にて準決勝以降の道場使用状況に応じて対面開催の可否を判断し、通知する。ただし、状況次第では不可と判断する可能性があるため、予め考慮すること。
- ③ 4回戦以降の日程でオンライン開催試合を行う場合  
→基本的に申告のみでよい。ただし、道場貸し出し予定日に貸し出し予定の会場を利用する場合は大会の開催を優先し、不許可とする可能性あり。
- ④ 4回戦以降の日程に対面開催試合を行う場合
- (1) 4回戦までで敗退したチーム同士の練習試合の場合  
→競技実施日に貸し出し予定の道場を使用していない限り、申告あった場合は許可
- (2) 4回戦以降で勝ち残っているチームを含む練習試合の場合  
→新人戦の4回戦以降で貸し出し予定が一切ない道場での試合は申告があれば許可方針。ただし、それ以外の場合は道場の割り当て状態等に因るため、不許可とする場合あり

※新人戦期間は「3月4日(土)～3月19日(日)」までとする。

※申請期日は練習試合実施予定日の一週間前までとする。

#### 女子の選手について

新人戦には女子の出場も可能とし、女子出場人数の上限は設けない。また、新人戦に出場した女子選手は20射16中(女子部新人戦の基準)で新人賞獲得とする。

## 10. 選手登録

- ① 選手登録方法概要  
：全日本学生弓道連盟ウェブサイト 大会選手登録
- ② 全日本学生弓道連盟ウェブサイトにおける大会選手登録
- ・大会選手登録期間：**2023年2月1日(水)～2月17日(金)23:59**
  - ・大会選手登録は全日本学生弓道連盟ウェブサイトにて行う。詳細は全日本学生弓道連盟より配布されている大会選手登録マニュアルを参照すること。
  - ・部員登録がなされていない部員が期限内に大会選手登録を行うためには、大会選手登録期間中に追加部員登録を全日本学生弓道連盟のウェブサイトから行う必要がある。
  - ・チーム選択は全て「Aチーム」とする。